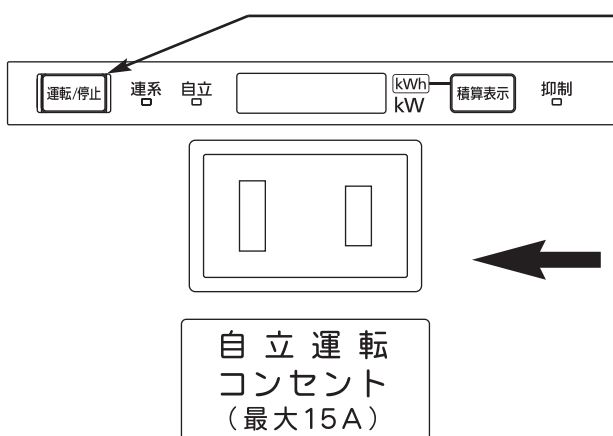


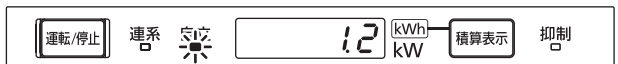
停電時の連系運転と自立運転の切り替え

連系運転から自立運転にするには

住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをOFF（切）にすることにより、自立運転に切り替えることができます。自立運転モードでは、自立運転コンセントから供給される電力により、電気製品を使用することができます。



1. **運転/停止** ボタンを押し、運転を停止する
表示が消え、パワーコンディショナは運転を停止します。
2. 住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをOFF（切）にする
3. **運転/停止** ボタンを押す
表示部の自立運転ランプが点滅します。約10秒後に（連系運転モードから自立運転モードに変更）自立運転ランプが点灯に変わり、自立運転コンセントにAC100Vが出力されます。

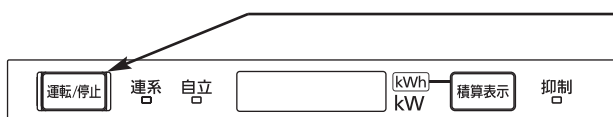


- 自立運転時の電力表示は、自立運転コンセントに接続された機器の消費電力を表示します。

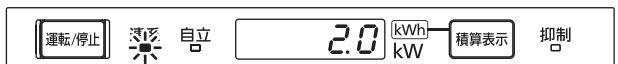
お知らせ

- 自立運転コンセントへのプラグの抜き差しは、ご使用される電気製品のスイッチをOFF（切）にした状態で行ってください。

自立運転から連系運転にするには



1. **運転/停止** ボタンを押し、運転を停止する
表示が消え、パワーコンディショナは運転を停止します。
2. 住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをON（入）にする
3. **運転/停止** ボタンを押す
表示部がカウントダウンを開始すると同時に連系ランプが点滅し（約5分間）その後、連系ランプが点灯し運転を開始します。



お知らせ

自立運転時のご注意（点検コードは14ページ参照）

- くもりや朝夕など太陽電池モジュールの発電量が少ない場合は、使用する電気製品の消費電力によって運転できず、機器内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。くわしくは、14ページの点検コードをご覧ください。
- 15A以上の電流が流れた場合、機器内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。くわしくは、14ページの点検コードをご覧ください。最大電力が1,500W以上になる機器には使用できません。自立運転コンセントは、最大15A以下でご使用ください。
- タコ足配線での使用はおやめください。
- 太陽電池モジュールが十分に発電している時でも、洗濯機、掃除機など、モータを内蔵している電気製品は、運転開始時に大きな電流が流れるため、使用できない場合があります。冷蔵庫のような、連続的に電力の供給が必要な機器には使用できません。
- 自立運転モードで日没となった場合、翌朝は自動的に連系運転モードが選択されます。住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカがOFF（切）であれば **運転/停止** ボタンを押し、「停止」→「運転」にすることで、自立運転を開始します。